

その違い、なるほど ニッポン&カンボジア

「11月1日（日） 蒲郡商工会議所 C.H.」

多様性社会を生きるの今日的テーマを掲げ、県内より50名余の参会者を得て、令和2年度のオアシス研修会を無事開催することができました。新コロナの感染が心配されるなか、関係者一同の知恵と情熱に支えられた研修会ではありましたが、感染予防対策に予想以上のエネルギーを費やす研修会運営となりました。

講師・質問者・パネリストの熱のある質疑応答に支えられ、さらに、「もっとカンボジアを知りたい!」の思いを高めた研修会でもありました。



基調報告

- ・バイヨン中生からのTシャツ
- ・タイとカンボジアの共通点
- ・協働することの力と喜び など



基調報告「私の愛したカンボジア」においては、神崎恭紀社員によるタイでの滞在生活との比較論からカンボジアの魅力を報告、交流体験や伝統文化の話題が満載でした。

パネル対話第1部「不思議、カンボジア人 ある ある」では、5人の質問者が「交通事情」「仏教信仰」「親日感情」「学校・家庭教育」「雨季の生活」などを話題にしてカンボジア人講師に質問。講師からは、流暢な日本語で生活感覚溢れる回答をいただき、なるほどと納得でした。第2部「不思議、日本人 ある ある」では、1部とは逆の立場から、講師2人より法人パネリスト2人に質問。「日本人の入浴意識」「もったいない観」「道徳性」の不思議・驚きなど、日本人の当り前感覚を問われる場となりました。参会者の方から「自分たちの生活・文化を見直すよい機会」との声をいただき、国際交流の意義を感じた研修会となりました。

参会者の声：A氏 ネイティブの皆さんの言葉は重みがあり、とても理解が深まった。カンボジアは政治次第で大きく発展することを確信できた。一方、中国の侵略的な進出には脅威を感じた。よりたくさんの人に聞いてもらいたい話題が盛りだくさんであった。

B氏：日本もカンボジアもそれぞれよいところがあり、それぞれ課題を抱えているようにも感じた。このような機会を通して、お互いの国を見直すのにとってもよいと思いました。



愛すべきカンボジア

出会いと笑顔 そして 心の交流



- ・日本が後退、中国の進出の背景
- ・合掌の手の位置には、相手に5段階の位置がある
- ・僧侶（寺院）に対する尊敬の念
- ・米を食べる量、日本の6～7倍
- ・都市と田舎での女性の社会進出の差
- ・雨降りでも傘を差さないカンボジア人
- ・バイクは無免許OK など

カンボジアとタイの文化の共通性 踊り・楽器



バイヨン中学校の踊り

バンコク日本人学校が修学旅行で訪問した音楽学校のダンス

タイ・サラリナムのディナーショー

アプサラダンス（大学生）

カンボジアの民族楽器

タイの民族楽器



《日本人の風呂好き》 伝統的生活文化、火山（温泉）国、リラックス・癒し効果
《綺麗な国土》汚れていた昔、家庭・学校教育の役割の重要性
《新し物好き》直すより新しい物買い、丁寧に使う精神の欠如 など



信号機がないのに、交差はスムーズ
(日本人には無理)



家事・家庭での仕事の分担？



合掌して「こんにちは」

椅子をおいて「こんにちは」

カンボジアの子どもたち・先生へ「伸びよ！輝け！学校づくり募金」

募金：1口3千円 あなたの3千円で公立学校の無料登校の実現が、さらに中卒者の就職の可能性を拓きます。

※国からの学校運営費は極めて少額で、小中学校では教材費・テスト代等の集金が日常化しており、このことが就学率を停滞させる原因にもなっている。

募金先：特定非営利活動法人オアシス 郵便為替：00840-8-123690